

【魏晉南北朝時代の文化】

〈文学〉

陶潜（陶淵明）…東晋の田園詩人

『帰去来辞』：官吏生活の俗っぽさを嫌った詩

昭明太子…梁の蕭衍の皇太子。『文選』：周から梁までの名詩を集めた。

謝靈運…『山居賦』：山水詩人として有名。

酈道元…『水経注』：地理学書。中国各地の水路に詳しい。

賈思勰…『齐民要術』：中国最古の農業書。

張仲景…『傷寒論』：後漢の医学書をまとめたもの。

〈歴史〉

陳寿…『三国志』

範曄…『後漢書』

〈芸術〉

おうぎし王羲之…『蘭亭序』：三書体（草書・行書・楷書）を大成

こがいし顧愷之…『女史箴図』：女性道徳を描いた文章に絵をつけたもの

雲崗…山西省平城付近の仏教遺跡で仏像は中国的な色彩が強い

竜門…河南省の仏教遺跡でガンダーラ美術風の仏像が見られる。

敦煌…西域に向かう河西回廊の仏教遺跡。スタインらの探検で莫高窟と古写経が発掘される。

〈宗教〉

道教…寇謙之：北魏の太武帝の保護を受けて、神仙思想（不老長寿を求める考え方）や老荘思想、五斗米道などを基盤に道教を大成
廃仏の政策を押し進める。

清談…初めは老荘思想に基づく論議であったが、のちに自由なものへ発展した。
「竹林の七賢」…白眼視のエピソードを持つ阮籍や嵇康ら7人の清談家

渡来僧 仏図澄（ブドチンガ）…亀茲（クチャ）出身で洛陽に布教

鳩摩羅什（クマラジーヴァ）…亀茲（クチャ）出身で長安に布教
大乘經典の漢訳

法顕…グプタ朝期のインドを訪れ、『仏国記』を著す。
陸路で向かい、海路で帰ってきた。